

「にほんごるーむ」活動のご案内

NPO 法人神奈川区多文化共生の会

【基本理念】

「にほんごるーむ」は、豊かな地域社会の実現のため、ボランティアと学習者が対等な立場で、互いを尊重しながら共に学び合う場とする。

【求められる姿勢】

傾 聴 … 日本人の感覚を優先せず、学習者の文化的背景や習慣を理解する。学習者の意向をよく聴きながら学習方法を検討し、学習者が最終的に選択したものを尊重する。

待 つ … ボランティアの話過ぎに注意し、学習者の発話を促す工夫を意識する。

相 談 … 活動上の不明点や悩み、問題点などは自己解決せず、ラウンジ窓口や周囲に相談し、皆で研鑽する意識で進めていく。

【ルール】

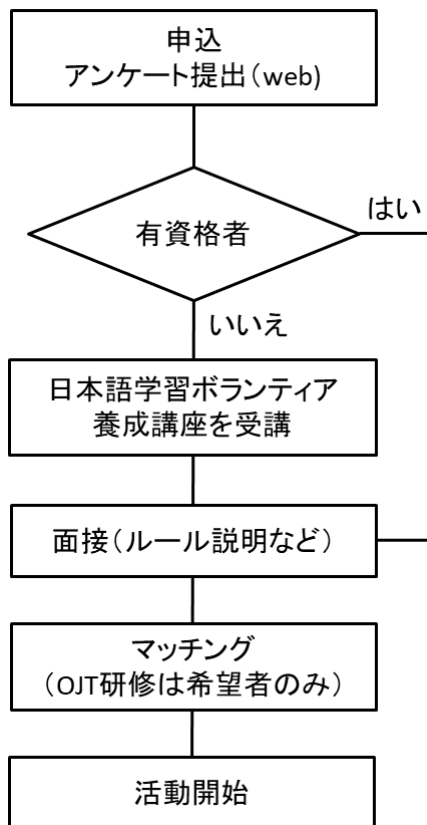
- ・活動に必要な教材のコピーは、著作権法上できません。Web教材の印刷は可能です。
- ・ラウンジ内のコピー機で印刷を行う場合は無料です。
- ・ラウンジ内の教材は自由に使えます。持ち帰りはできません。
- ・学習者との連絡は、原則 LINE オープンチャットをご使用ください。
- ・欠席連絡は、緊急時を除き、活動日の前日までにお願いします。
- ・教室外での学習者との交流活動については、原則自由です。ただし教室外で起こったトラブル等について、NPO 法人神奈川区多文化共生の会は一切責任を負いません。
- ・ハラスメント等、何らかの問題が生じた際は、必ずコーディネーターにご相談ください。

【進め方】

- ・コーディネーターが、学習者へのレベルチェック・ニーズ調査を行い、ボランティアとのマッチングを行います。その後、学習者・ボランティア・コーディネーターの三者面談を行い、学習方針を決めます。
- ・1か月の試行期間を経たのち、ボランティア活動継続の意志確認を行います。
- ・活動報告の提出はありません。定期的に活動状況についてのヒアリングがあります。
- ・学習者の日本語力の幅を広げる観点から、学習者を変更することがあります。

以 上

「にほんごるーむ」で活動を開始するまでの流れ



有資格者とは

- (1) 日本語教師養成講座 420時間以上修了
- (2) 日本語教育能力検定試験合格
- (3) 大学で「日本語教育科目」を主/副専攻で修了
- (4) 他団体の日本語教室などで1年以上のボランティアの経験がある方。

- 講座修了後、希望者には OJT 研修を実施します（2回まで）。
- 活動開始後は「にほんごるーむ」所属メンバーになります。NPO 法人神奈川区多文化共生の会への入会は任意です。
- 活動開始時期について、マッチング待ちの学習者がいる場合は、講座終了後1週間程度で、活動のご案内をします。また、学習者やボランティアの増減などの状況により、ご希望に添えず、長くお待たせすることもあります。ご了承ください。

受講者が講座修了後活動するやくだつ日本語教室「にほんごるーむ」のしくみ

■主催は、神奈川県多文化共生ラウンジなのか（支援者の所属先は？）

→主催は NPO 法人神奈川県多文化共生の会です

→ボランティアの所属先はやくだつ日本語教室「にほんごるーむ」です

■教室で扱う活動はどの範囲か（試験対策、一般的な日常生活の日本語）

→生活に直結する日常会話を中心に活動を始め、最終的には幅広いニーズに対応する日本語教室を目指します。

→今後の課題ですが、日本語能力試験対策コースは有料クラスを検討する予定です。

■学習者とのマッチング方法

→コーディネータがヒアリング情報などから総合的判断を行い決めます。

■初回までにどの程度学習者の情報がもらえるのか

→面接（ルール説明など）の時に学習者ニーズ調査データを提供します

■学習者と直接連絡するのか、ラウンジを通すのか

→LINE オープンチャットを検討中

■セクハラ、カスハラ、モラハラなどがあつた場合に対する備えと相談方法

→コーディネータに相談ください

→コーディネータはにほんごるーむ運営委員会と共有し、解決方法を検討します。

■活動の現場で困つた時のサポート体制

→同上

活動に際してのルール

■活動に必要な教材やコピーは個人で準備するのかどうか、その費用は？

→web 教材のコピーは無料です。

→教材は教室での授業については、主催者側が負担するので無料です。但し、教材（教科書）の持ち帰りは認めず、自宅学習用の教材は自己負担となります。

■休む場合の連絡先、

→LINE のオープンチャットを検討中

■学習者にどのくらいまで負担してもらつてよいのか。テキスト代の目安は～¥など

→自宅学習用の教材は自己負担となり約3000円です。

■活動報告のフォーマットや提出方法、期限

→特にありません

■教室外の交流活動について（いっしょにイベントに参加、病院の付き添い・・・）

→日本語ボランティアの活動範囲外です

■緊急時の連絡先と連絡方法

→本人の連絡先以外は取得しません。